

参議院議員（埼玉選挙区）

矢倉かつお News Letter

元農林水産大臣政務官
公明党青年委員長



No.22 令和4（2022）年1月発行

発行元 公明党参議院埼玉選挙区第1総支部

東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館401号室
TEL:03-6550-0401 FAX:03-6551-0401

法務委員長に就任！

矢倉かつお議員は昨年12月6日に召集された第207臨時国会で、法務委員長に就任しました。矢倉議員が委員長職に就くのは初めてです。

法務委員会はこれまでの経歴の中で矢倉議員が一番長く所属した委員会です。所管事項としては大まかに分けて、①法務省の所管に属する事項、②裁判所の司法行政に関する事項であり、法務行政及び検察行政、国内治安、人権擁護等、さらに裁判所の司法行政全般を所管します。

また法務委員会は民法や刑法、会社法など基本法や重要な法律を所管するとともに、ときに様々な価値観が対立する課題を議論、調整する場ともなります。



矢倉議員は就任にあたり、「さらに気を引き締め、公平かつ安定した委員会運営につとめます」と決意を述べました。

《名古屋入管施設でのスリランカ人女性の死亡事故のVTR——参議院法務委員会でも開示》

矢倉法務委員長は12月27日、入管施設で撮影された7時間にわたる長時間の映像を視聴しました。

VTRを視聴後、矢倉委員長は、「本当に痛ましく、二度とこのような形で亡くなる方を出してはいけなと深く思いました。心からお悔やみを申し上げます」と述べました。そして、「情報共有や体制の脆弱さ、常駐医師不在、女性職員だけで重労働などの課題もあります。職員の方は、昼夜問わず献身的に介助していた印象ですが、組織として、一人の尊厳を守ることへの更なる啓発は必要だと感じました。今後の委員会では、入管や職員への非難に終始しないようにしつつ、より良い制度のための建設的な議論をしてまいりたい」と与野党間の建設的論議を求めました。



令和3年度補正予算で、各種補助金を拡充しました！

グリーン化、デジタル化を後押しする補助金の概要

- ◆事業再構築補助金（中小企業1億円上限、中小企業への補助率2分の1）
研究開発のための新規設備導入費用など
- ◆ものづくり・商業・サービス補助金（補助率3分の2）
グリーン枠 エネルギー効率に優れた機会導入費用など（上限2000万円）
デジタル枠 AIを活用したシステム構築にかかる費用（上限1250万円）
- ◆IT導入補助金
 - ・会計ソフトなどITツール導入（上限350万円、補助率4分の3～3分の2）
 - ・パソコン、タブレット購入など（上限10万円、補助率2分の1）
 - ・レジ購入など（上限20万円、補助率2分の1）
- ◆持続化補助金
インボイス発行事業者への転換支援（上限100万円、補助率3分の2）



新マイナポイントは1月からスタートします！！

- ① マイナンバーカードの新規取得者が対象で、キャッシュレス決済を利用して買い物をした場合、金額の25%（合計で最大5000円分）がマイナポイントとして付与されます。また、カード取得済みでも現行のマイナポイントを未利用の場合は最大5000円分のポイント、あるいは上限額まで付与を受けていない人も合算して5000円分のポイントが受け取れます。
- ② マイナンバーカードを健康保険証として利用するための登録をした場合は、7500円分のポイントが受け取れます。
- ③ 行政からの給付金などを迅速に受け取るための口座登録を行った場合も、7500円分のポイントが受け取れます。



※マイナンバーカード新規取得者は最大2万円のマイナポイントが受け取れます！

新型コロナ対策（令和3年度補正予算と令和4年度当初予算案での措置）

- ワクチンの3回目接種の無料化や接種体制の整備 [1兆2954億円]
- ワクチンを打てない人や感染拡大地域の無症状者の無料検査 [3200億円]
- 治療薬（飲み薬や中和抗体薬）の確保、実用化支援 [6075億円]
- 病床や宿泊療養施設、医療人材の確保のサポート [2兆314億円]
- 緊急対応（予期せぬ状況変化の対応） [5兆円]

